

令和5年12月19日(火)
北九州市発達障害者支援地域協議会

報告②

ワーキンググループでの検討 (中間報告) 資料

発達障害者支援地域協議会「ワーキンググループ」での協議経過について (中間報告)

ワーキンググループ概要

(1)目的

発達障害児者支援における効果的な情報共有やコーディネーター間の調整について、これまでの議論を含め、そのあり方(目指す姿)の検討及び一貫性を持った支援につながる仕組みを作るための課題や具体的に取り組むべき事項の検討・整理・提示を行う。

※「コーディネートに関するシステムづくり」「支援者(コーディネーター、事業者等)の資質の向上」という2つの視点から議論を行うもの。

(2)メンバー

①当事者、家族 ②医療・福祉・教育分野の支援者 ③学識経験者 9名で構成

(3)開催実績

日程		内容
第1回	10/2	<ul style="list-style-type: none">● コーディネーターの定義、そのあり方、課題について意見交換● 情報共有やコーディネート間の調整の仕組みに関する、これまでの議論や課題等の共有 (R3 部会、R4 協議会での内容等)● 発達障害児者支援における一貫した支援体制構築のためのコーディネート体制について(事務局説明)
第2回	10/30	<ul style="list-style-type: none">● 発達障害児者支援における一貫した支援体制の構築へ向けた<ul style="list-style-type: none">①コーディネーター全体の支援力について②コーディネーターに関するシステムの理想(目指す姿)に関する議論● 目指す姿へ向けた課題や取組みの項目整理のためのワークシート作成について(作業依頼)
第3回	12/4	<ul style="list-style-type: none">● 発達障害児者支援(対人支援)に携わる①コーディネーター(役割)、②その支援力について、共有のため定義について議論● ワークシートをもとに、項目ごとに整理した課題や取組案を議論
第4回	R6 1月	<ul style="list-style-type: none">● 項目ごとに整理した課題や取組案を議論
第5回	2月	<ul style="list-style-type: none">● ワーキングでの議論の結果や、課題・取組案の確認・まとめ
3月		発達障害者支援地域協議会で報告

発達障害者支援地域協議会「ワーキンググループ」構成メンバー

構成メンバー	
1	西南学院大学准教授 倉光 晃子
2	福岡教育大学講師 藤原 あや
3	当事者 神崎 淳子
4	家族(北九州市自閉症協会) 大津 泰子
5	総合療育センター 高尾 めぐみ
6	発達障害者支援センターつばさ 山本 亜由美
7	障害者基幹相談支援センター 松本 麻子
8	特別支援教育相談センター 金田 司
9	学校関係者(スクールソーシャルワーカー) 嶋村 美由紀